

【 資 料 】

1. 筑紫野市文化振興計画策定審議会の審議経過
2. 筑紫野市文化振興計画策定審議会委員名簿
3. 筑紫野市の主な文化資源
4. 用語の定義・概念

1. 筑紫野市文化振興計画策定審議会の審議経過

	開催日時	主な議題、内容
第1回	平成20年1月29日	○委嘱書の交付
		○会長、副会長の互選
		○審議会の進め方について
		○諮問
		○文化の領域について
第2回	平成20年2月26日	○筑紫野市の文化について
		○視察について
第3回	平成20年4月3日	○市内視察
		○意見交換会
第4回	平成20年4月28日	○筑紫野市の文化の現状と課題について
第5回	平成20年5月29日	○審議会での意見のまとめ
第6回	平成20年6月26日	○第4章「文化振興施策の基本方向」について
第7回	平成20年7月28日	○第4章のまとめ
		○第3章「文化振興の基本的な考え方」について
第8回	平成20年8月18日	○第1章「文化振興計画の策定にあたって」について
		○第2章「筑紫野市の文化の現状と課題」について
		○第3章「文化振興の基本的な考え方」について
	平成20年9月1日～ 平成20年9月30日	パブリックコメント
第9回	平成20年10月18日	○パブリックコメントについて
第10回	平成20年11月17日	○パブリックコメントについて
		○答申のまとめ
答申	平成20年12月24日	○答申
		○意見交換会

2. 筑紫野市文化振興計画策定審議会委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考
関係団体等 推薦者	井 上 恭 子	筑紫野市文化協会	
〃	田 中 鉄 弥	筑紫野市美術協会	副会長
〃	牛 嶋 一 憲	筑紫野市小地区公民館連絡 協議会	
〃	木 藤 叶	つくし郷土史会	
〃	寺 崎 敏 也	筑紫野市社会福祉協議会	
〃	峯 崎 博 道	筑紫野市校長会	
〃	後 村 由美子	ちくしの子ども劇場	
〃	新 地 一 郎	筑紫野市商工会	
識見を有する者	古 賀 弥 生	アートサポートふくおか代表	会長
〃	高 倉 洋 彰	西南学院大学教授	
市 民	坪 根 正 武	公募	
〃	城 戸 麗	公募	

敬称略

3. 筑紫野市の主な文化資源

(1) 各地域の主な文化資源

地区名	文化資源	解 説
二日市	武蔵寺	県指定史跡の古刹。「紙本著色武蔵寺縁起」(県指定)、武蔵寺経塚群出土品(市指定)を初め多くの文化遺産を有する。
	二日市八幡宮	二日市地区の産土社。境内に「公孫樹」(市指定)があるほか、茅の輪くぐりなど民俗行事がある。
	天拝山	菅公伝説が残り、常緑照葉樹を中心とした自然林が広がる。武蔵寺側登山口には「イヌマキ」の群生(県指定)やこの付近では珍しい「シオジ」がある。
山口	基肄城(北帝門)	筑紫野市から基山町にかけて広がる国の特別史跡。特に山口側には北帝門と呼ばれる大きな門がある。
	エヒメアヤメ	長年、地域で育成の取り組みがなされている。大陸と日本が陸続きであったことを証明する植物とされ、佐賀市の自生地は国の指定を受けている。
	生姜	明治初年の福岡県地理全誌に 66,000 斤の収穫量が記載され、その栽培は江戸時代まで遡る。地元農民が長崎で栽培法を学んできたことが始まりといわれ、筑紫野市の地域おこしのはしりともいうことができる。
筑紫	五郎山古墳	国指定の装飾古墳。史跡整備が終わり、年間 6,000 人を越える人が訪れる。
	筑紫神社	筑紫の国号の起源に由来するともいわれる神社で、この地域の歴史に深く関わっている神社である。粥占(市指定)等の民俗行事がある。
	国境石	筑後や肥前と国境を接する地域で、三国境など多くの国境石が建てられている。
御笠	宝満山	東西を太宰府市と二分する。奈良時代から信仰を集め、多くの遺跡があると考えられるほか、自然が多く残り、登山者が多い。
	阿志岐城	飛鳥時代につくられたと考えられる山城。発見されて日が浅いため不明な部分が多いが、古代の大宰府・北部九州を考える上で重要な位置を占める。
	宝満川	三郡山に源を発し、筑後川と合流して有明海に注ぐ、本市で一番大きな川。上流には竜岩自然の家があり、中流ではイベントが催されている。
山家	山家宿	長崎街道・薩摩街道・日田街道が交わる交通の要衝の宿場。当時の建造物も残っており、毎年多くの人が見学に訪れる。
	山家宝満宮	永正 18 年(1521)に創建されたといわれる。市指定無形文化財「山家岩戸神楽」が奉納される。
	西部軍司令部跡	正確には第 16 方面軍の司令部としてつくられた大規模な地下陣地。一部は旭化成筑紫野工場がおかれている。



武蔵寺



平等寺エヒメアヤメ



五郎山古墳



山家宿西構口並びに土塀

(2) 行政、文化団体、商工会等の主な文化イベント

タイトル	内容
生涯学習フェスティバル	自主学習グループ等の発表、交流(作品展示、ステージ発表など)
ちくしの人形劇まつり	プロ・アマによる人形劇、ワークショップなど
二日市温泉藤まつり	藤供養・ステージイベント・スタンプラリー・スケッチ大会・茶会など
天拝山観月会	ご神火リレー・バザー・演芸・茶会・俳句会・花火
御前湯うし湯まつり	ステージイベント、日舞・太鼓など



生涯学習フェスティバル



ちくしの人形劇まつり



二日市温泉藤まつり



天拝山観月会

(3) 文化会館、各コミュニティセンター、隣保館等の主な文化関係事業

タイトル	内容
名曲コンサート	親しみやすいクラシックコンサートをテーマとした演奏会
メセナちくしの“吹奏楽祭”	市内の各吹奏楽部、吹奏楽団の交流などを目的とする演奏会
DA・N・KA・I バンドフェスタ	団塊世代を中心とした音楽グループによるコンサート
二日市コミュニティ文化祭	ステージ発表、作品展示、バザー、体験学習など
筑紫地区文化祭	
山家地区市民文化祭	
山口コミュニティまつり	
御笠地区市民文化祭	
宝満川カヌー大会 IN 美咲	カヌー競争など
オータムコンサート IN おかだ	演奏会、フリーマーケットなど
夏祭り（永岡）	周辺地域との交流・啓発
京町子どもまつり	周辺地域との子ども交流



DA・N・KA・I バンドフェスタ



御笠地区市民文化祭



京町子どもまつり

(4) 指定文化財一覧

区分	種別	名称	所在の場所	指定年月日
国	特別史跡	基肆（椽）城跡	山口・萩原・原田ほか	昭和12年12月21日 昭和29年3月20日
〃	史跡	五郎山古墳	原田3丁目9-5	昭和24年7月13日
〃	〃	塔原塔跡	塔原東3丁目536-1ほか	昭和14年9月7日
〃	有形文化財	隈・西小田遺跡群出土品	二日市南1丁目9-1	平成16年6月8日
国登	〃	旧九州鉄道城山三連橋梁	永岡	平成9年5月29日
県	史跡	武蔵寺跡	武蔵621	昭和35年8月16日
〃	〃	山家宿西構口並びに土塀	山家5126、5138	平成14年4月5日
〃	有形文化財	紙本著色武蔵寺縁起	二日市南1丁目9-1	平成15年2月5日
〃	〃	隈・西小田遺跡群甕棺墓出土品	二日市南1丁目9-1	平成17年2月23日
〃	天然記念物	立明寺のタブノキ	立明寺60-1	平成13年2月21日
〃	〃	武蔵のイヌマキ群	武蔵624	平成13年2月21日
市	有形文化財	古石塔	武蔵621	昭和50年6月16日
〃	〃	自然石梵字板碑	武蔵621	昭和50年6月16日
〃	〃	山家宿場郡屋土蔵	山家5161-1	昭和50年6月16日
〃	〃	武蔵寺経塚群出土品	武蔵621	昭和59年11月1日
〃	〃	牛島地蔵石仏	牛島202-2	平成11年7月23日
〃	〃	木造十二神将像	武蔵621	平成16年10月18日
〃	〃	阿弥陀三尊板碑	岡田2丁目13-3老松神社境内	平成17年8月4日
〃	〃	紙本著色山家御茶屋指図	二日市南1丁目9-1	平成18年8月8日
〃	無形民俗文化財	山家岩戸神楽	山家2683	昭和51年4月16日
〃	〃	筑紫神社粥占行事及び粥鉢一口	原田2550	昭和59年11月1日
〃	史跡	高橋紹運首塚伝承地	二日市北2丁目271-1	昭和59年11月1日
〃	〃	杉塚廃寺跡	杉塚158-1ほか	平成4年4月30日
〃	〃	大宰府条坊跡朱雀大路（立明寺地区）	二日市中央5丁目703-1	平成4年4月30日
〃	〃	山家宿郡屋跡	山家5161-1ほか	平成4年12月28日
〃	〃	山家宿大庄屋役宅跡	山家5241-1	平成4年12月28日
〃	〃	山家宿下代跡	山家5126	平成7年6月23日
〃	天然記念物	長者の藤	武蔵621	昭和50年6月16日
〃	〃	二日市八幡宮神木の公孫樹	二日市中央3丁目885	昭和59年11月1日
〃	〃	平等寺エヒメアヤマ	平等寺	平成11年7月23日

平成21年3月31日現在

4. 用語の定義・概念

P 1 「市民」

本計画においての「市民」とは、市内に居住する人、市内に通勤・通学している人、及び市内において文化活動を行っている人を意味する。

P 1 「グローバル化」

基本的には、個人や団体が地球規模で活動し、ヒト、モノ、カネ、情報の国際的な移動が激増して、世界中の経済が結びつき、人々の生活が似たものになっていく現象をさす。

P 1 「スローライフ」

大量生産、効率化が求められがちな現代社会において、自然と調和し、豊かでゆっくりとした生活を行おうとする考え方や、それに基づいたライフスタイルを意味する。

P 1 「協働」

それぞれの主体が自己を確立し、相互の認識と理解のうえにたって、共通の目標をもち、それぞれの価値観や判断に従ってそれぞれの働きをすること。

P 6 「NPO」

政府や私企業とは独立した存在で、ボランティア団体や市民活動団体などの「民間非営利組織」をいう。

利潤追求とは異なる公共の福祉向上を使命とし、1998年には特定非営利活動促進法が制定され、17の分野で特定非営利活動を行う団体に法人格を付与できるようになった。

P 7 「コミュニティ」

人々が共同体意識をもって共同生活を営む一定の地域、及びその人々の集団、または地域社会や共同体を意味する。

P 7 「モータリゼーション」

道路整備や所得水準の上昇などによって、自動車が多く普及し、車中心の社会となっていくこと。

P 10 「行政の文化化」

行政全般について、文化の視点から見直すことにより、行政サービスの向上や市民の立場に立った行政施策の推進をめざすこと。

P13 「ワークショップ」

講師が一方向的に教えるのではなく、参加者が主体となって実際に体験したり、作業することによって、何かを学んだり創造したりするような形態の講座をさす。

P17 「エコツーリズム」

自然環境や歴史文化を対象とした体験や学習を行うことで、その大切さが理解され、保全につながっていくというような観光のあり方。

P19 「メセナ」

「芸術文化支援」を意味するフランス語であり、企業などが社会貢献を目的として文化、芸術活動を支援すること。